

令和6年度 但馬県民局主要施策 (地域躍動推進費予算案)

令和6年2月 但馬県民局

令和6年度但馬県民局予算(案)の基本方針

大阪・関西万博2025 ひょうごフィールドパビリオンの展開を新たな契機として、コウノトリをはじめとする豊かな環境、特色ある農畜水産物、日本遺産、着実に育ちつつある“芸術の力”等、但馬固有の資源や地域の強みを発揮した施策を展開し、将来にわたり持続可能な地域社会を構築する。

重点①

大阪・関西万博2025に向けた
ひょうごフィールドパビリオンの展開
→No. 3

フィールドパビリオンの磨き上げを支援するとともに、フィールドパビリオン間の連携やスムーズな移動を実現することで、来訪客のさらなる増加を目指す

重点②

但馬地域の雇用拡大・多様化の推進
→ No. 4

あらゆる機会を活用して情報発信するとともに、より多様で魅力的な就業環境を整備することで、地域内就業者の確保を目指す

- I 住んでみたい・住み続けたい但馬の創造
～緩やかに縮む人口対策～
(予算額 53百万円)
→ No. 5 ~ No. 9
- II 行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築
～観光・交流の強化～
(予算額 48百万円)
→ No.10 ~ No.11
- III 誇りたい・ふるさと但馬の再発見
～ビッグライトの醸成～
(予算額 30百万円)
→ No.12 ~ No.14

重点①

大阪・関西万博2025に向けた ひょうごフィールドパビリオンの展開



ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs



● 地域内連携強化・情報発信

SDGs体験型プログラムと既存の地域資源を連携・活用したモデルコースを設定。大学生によるモニターツアーを通して、より魅力あるツアーへの磨き上げと発信強化を図る。

● 二次交通の充実支援

夢但馬周遊バス「たじまわる」に加え、レンタサイクルや交通事業者等の周遊観光に資する事業を支援し、各プログラムへのアクセス利便性向上を図る。

● インバウンド誘客対策

翻訳機器導入を支援し、外国人向け案内体制の充実を図る。



自然エネルギーを活用した
「湯がき体験」(新温泉町)



「和牛のふるさと」ルーツを訪ねて
(香美町)



選べる新旧 城崎温泉町めぐり (豊岡市)



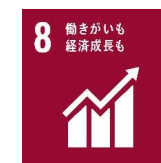
Asagoで暮らすたび〜Travel like you live here (朝来市)



明延むかし、いま、みらい (養父市)

重点②

但馬地域の雇用拡大・多様化の推進



人材確保・事業承継に向けた取組

- 「但馬で働こう大作戦」の推進
専門職大学と連携した企業説明会を開催し、若年層の但馬企業への就職を促進
- 事業承継の取り組み推進
但馬全域での事業承継の現状把握と対策の洗い出し



産業活性化の推進

- 支援団体等との人材交流・連携強化
商工会議所・商工会等の団体職員間の交流を創出し、支援体制を強化
- 大学との連携によるスタートアップ支援
専門職大学と協力し、起業家と地域事業者等の交流促進や、起業機運醸成のための講演・交流会を開催



農林水産業の担い手確保の推進

- 営農タイプ別の新規就農バスツアー開催
- 集落と新規畜産参入者とのマッチング体制整備
- 県立高校での林業出前講座の実施
- 沖合漁業の理解を深める資料作成と就職説明会への新規出展



地域医療構想の実現と推進

効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するため、医療従事者が地域に定着するための環境づくり、公立病院間の機能分化・連携を進め、拠点病院を中心とした病院間の連携体制の構築を図る。



I 住んでみたい・住み続けたい但馬の創造 ～緩やかに縮む人口対策～



環境創造・収益に繋がるブランド力強化

1 コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開 (8,965千円)

- (1) 育む農法推進に係る課題解決のための技術実証
品質向上や省力化、新品種（多収穫品種）の無農薬栽培及び施肥体系確立等に向けた技術実証ほの設置
- (2) 育む農法取組拡大に向けた生産条件整備
（コウノトリ育む農法拡大条件整備事業）
取組を拡大する生産者・団体等への栽培経費支援
- (3) 育む農法の更なる認知度向上や販路拡大等によるブランド強化
ア J A たじまが実施するP R活動への支援
イ 有機J A S等第三者認証の取得支援
- (4) コウノトリ育む田んぼ塾の開催
栽培技術レベルの高い農業者（育む農法アドバイザー）による栽培初心者等への指導により円滑な技術習得を推進
- 新規 (5) 育む農法拡大に向けた低コスト水利施設導入
冬期湛水の用水を確保するため、ポンプを利用しない自然の水位差を利用した低コスト水利施設の導入促進と適地調査を実施

新規

2 新潟県との連携による情報発信と交流促進 (1,000千円)

- (1) 小学生対面学習等の支援
- (2) 農業者間技術交流の促進
- (3) P Rパンフレット等の作成

3 スマート農業技術の確立・定着・拡大 (1,500千円)

- (1) ほ場条件や作物に対応したスマート農業技術確立・定着・拡大
技術確立実証ほの設置
経営実験大規模実証ほ設置
- (2) 地球温暖化に対応した栽培管理技術の確立
環境データ調査試験ほ設置

I 住んでみたい・住み続けたい但馬の創造 ～緩やかに縮む人口対策～



環境創造・収益に繋がるブランド力強化

4 但馬牛の生産基盤強化対策の推進

(5,485千円)

(1) 農業遺産但馬牛システムの継承者の確保に向けた受
入体制整備

拡 (2) 但馬牛耕畜連携流通システムの確立

新規 ア 堆肥を活用した自給飼料（WCS、飼料用稲等）の実証ほを
設置

新規 イ 稲わらを畜産農家に供給するシステムの構築

拡 (3) 美方郡産但馬牛の世界農業遺産認定活用

ア 世界農業遺産認定を受け、活用協議会運営への支援

イ 観光産業等との連携体制の構築

(3) 作付拡大への支援

ア 新規栽培等への経費補助（たじまピーマン、朝倉さんしょ）

イ 技術習得への支援（なしおとめ、朝倉さんしょ）

ウ 優良種子確保対策への経費補助（美方大納言小豆）

(4) 有機農業等の推進

野菜や果樹など多様な品目への堆肥利用の拡大に向けた実演会
の実施

(5) 但馬産水産物の振興

ア 但馬産水産物や水産加工品の認知度向上と販路拡大に向けた
活動を支援

イ いか釣り漁業の経営安定に向けた操業試験の実施

ウ 藻場保全に向けた重点的なムラサキウニの採取・駆除の実施

5 但馬産農水産物のブランド力の向上

(10,294千円)

(1) 他産地との差別化に向けたP R

ア 販売店でのP R、地元での特設販売等（なしおとめ、えだま
め（ひかり姫等））

イ 展示会等への出展、販促活動への補助（美方大納言小豆、朝
倉さんしょ）

(2) 生産安定・多収化・コスト低減に向けた技術開発と普及

品目ごとの課題に対応した実証試験による栽培技術の確立と
普及の促進（たじまピーマン、なしおとめ、朝倉さんしょ、岩
津ねぎ、えだまめ（ひかり姫等））

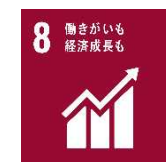
新規

6 夜久野高原区域の地域活性化に向けた支援

(400千円)

「夜久野高原花畑」等に活性化施設を整備し関係人口
の拡大を図ることで地域の農業収益力向上と地域活性化
を促進する。

I 住んでみたい・住み続けたい但馬の創造 ～緩やかに縮む人口対策～



環境創造・収益に繋がるブランド力強化

7 野生鳥獣被害対策の推進

(629千円)

- (1) **但馬全体で連携した広域捕獲の実施**
周辺の有害捕獲実績等を基に、広域捕獲エリアを設定し、捕獲班の編制、市町有害捕獲許可の調整を行い、広域捕獲を実施
- (2) **くくりわなの捕獲技術講習**
わな猟初心者を対象に講習会を実施
- (3) **広域のカワウ対策体制の構築**
市町や内水面漁協が連携し、捕獲や調査を実施
- (4) **食肉用シカ肉処理加工量増加対策**
食用利用の促進のため、狩猟者を対象に血抜き講習会を実施

地場産業の育成・強化

1 産業活性化の推進

(893千円)

- 新規** (1) **支援団体等との人材交流・連携強化事業**
商工会議所・商工会等の交流を創出し、但馬地域一体となった支援体制の強化
- (2) **関係団体と連携した但馬企業の応援事業**
 - ア 専門職大学との連携によるスタートアップ支援
 - イ 但馬産業大賞による企業顕彰

2 但馬材素材生産強化・向上

(854千円)

- 新規** (1) **資源循環型林業を担う人材の確保・育成**
 - ア 出前講座の実施及び移住・就労相談会への出展
 - イ 高性能林業機械等が活躍する林業の現場を見学できるバスツアーの実施
- 新規** (2) **但馬型再造林モデルの実証**
 - ア シカによる食害対策として、獣害忌避装置の再造林地への導入可能性を検討
 - イ ドローン活用による現場作業員の負担軽減や低コスト化を検討
- (3) **但馬産原木の海外輸出の促進**
商社等流通関係者との情報交換会の開催

I 住んでみたい・住み続けたい但馬の創造 ～緩やかに縮む人口対策～



地場産業の育成・強化

3 地域ぐるみの新規就農者の確保

(800千円)

但馬地域外からの新規就農者を確保するため、但馬の魅力を感じてもらうバスツアーを実施するとともに、但馬での就農の魅力を伝える情報発信コンテンツの充実や、新規就農希望者を但馬地域へ呼び込むイベントを開催する。

4 新規参入者による但馬牛がいるむらづくり支援

(300千円)

支援集落及び新規参入者等の募集の絞り込みを行うとともに、先進地調査の実施等を行い課題や条件設定の明確化を図り、イメージパースの作成により地域住民等の理解促進に努める。

5 沖合漁業船員の育成および定着促進

(9,525千円)

新規 (1) 就職説明会への出展、漁船での作業内容など理解を深める資料の作成

(2) 未経験者に対する現場研修の実施

「但馬暮らし」の推進

1 但馬U・Iターン400人大作戦の展開

(9,754千円)

(1) 移住相談窓口の設置・運営

- ア 移住相談員による親身になった相談の実施
- イ 移住に役立つ但馬の情報を効果的に発信

(2) たじま移住体験オーダーメイドツアー等の実施

- ア 移住希望者の要望に対応する移住体験ツアーを実施
- イ 先輩移住者や地元企業(職場体験)の案内など、住まいや仕事探しをワンストップで支援

(3) 移住者受け入れ体制の強化

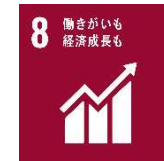
- ア 移住者同士のネットワークづくりを支援し、移住後のフォローアップを強化
- イ 先輩移住者が移住希望者の生活相談等に対応する相談室の開設

(4) 若者のUターン促進

- ア 若者が企画し交流するコミュニケーションメディアを運営
- イ 市町と連携し、若者を対象としたイベントを開催

(5) 住まいの確保事業（空き家相談会の実施）

I 住んでみたい・住み続けたい但馬の創造 ～緩やかに縮む人口対策～



「但馬暮らし」の推進

2 「但馬で働こう大作戦」の推進

(2,177千円)

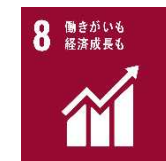
(1) 高校生に向けての情報発信

但馬の企業の若手従業員が地元企業・地元就職を決めた理由などを掲載した但馬企業紹介ホームページ「たじまが好き。」の但馬地域の高校のキャリア教育等での活用を促し、若年層の地元企業認知度向上と地元就職を推進

④ (2) 大学生に向けての情報発信

- ア 専門職大学と連携した但馬企業説明会の開催
- イ 市町や高校と連携した大学3年生等への企業情報等の発信

II 行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築 ～観光・交流の強化～



新たなツーリズムの戦略的推進

1 但馬の多彩な観光資源の再構築

(22,890千円)

(1) テーマ性をもったツーリズムの構築推進

但馬の潜在的な観光資源の掘り起こしを行い、着地型体験コンテンツの充実やそれに関わる人材の育成などを中心に支援し、但馬地域で新しいツーリズムの浸透を促進

(2) 但馬ツーリズム情報の積極的発信

兵庫DCの効果を万博に向けて継続させることを軸に、ひょうごフィールドパビリオンなどを意識した観光コンテンツの国内外への広報・周知事業を強化し、「観光地但馬」の露出度の向上を推進

(3) サイクルツーリズムの推進

但馬地域の豊かで魅力的な自然を最大限に活かす一つの形としてサイクルツーリズムを推進し、イベント開催を契機とした交流人口の拡大を図り、地域経済活性化と活力の向上を推進

(4) 二次交通の充実・利用促進に向けた支援

ア 夢但馬周遊バス「たじまわる」の継続運行
イ アフターDC・ひょうごフィールドパビリオンを見据えた地域内周遊の促進

④ (5) インバウンド誘客対策

ア 「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2024」への出展
イ インバウンド対応多言語化支援



2 ひょうごフィールドパビリオン地域内連携の強化と情報発信事業

(3,000千円)

(1) 専門職大学と連携した事業

ア 観光客の行動調査
イ 但馬ツーリズム情報の積極的発信
ウ モデルコース作成

(2) パンフレット作成

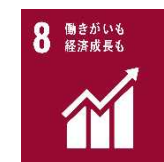
但馬全域のフィールドパビリオンやモデルコース、公共交通機関情報を発信

3 都市農村交流人口の拡大推進

(4,500千円)

多様な農林水産品や地場産品等の但馬ブランド、ツーリズムを推進するため、但馬まるごと感動市実行委員会事務局が実施する都市農村交流イベントに支援し、但馬内外との交流・連携を推進する。

II 行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築 ～観光・交流の強化～



地域資源の活用

1 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進 (3,827千円)

新規 (1) 効果的なプロモーションの推進
来訪者に日本遺産のストーリー全体の魅力や構成文化財の位置付けなどを伝えるため、道の駅「銀の馬車道・神河」に広報ブースを設置し、再訪や構成文化財等の周遊を促進

(2) 「鉱石の道」稼ぐ仕組みの創出
地域団体や事業者等が鉱山遺産以外の付加価値となる食や宿泊、体験等の魅力を掘り起こし、「稼ぐ仕組み」を創出する取組に対して支援

(3) 行政、企業等との連携による地域活性化の推進

2 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進 (13,270千円)

(1) 山陰海岸ジオパーク推進協議会への支援

新規 (2) 万博推進に向けた山陰海岸ジオパークの受入環境強化
万博に向け、ジオカヌーなどジオパークに関連したフィールドパビリオンや、大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受入環境を充実させるため看板等を設置し、魅力を国内外に発信

地域外からのアクセス利便性の向上

1 但馬地域鉄道利用の促進 (540千円)

- (1) アクションプログラムの着実な推進
2次交通アクセスの充実（駅前レンタサイクル補助）
- (2) 但馬地域における鉄道の魅力発信による利用促進
「車両基地見学会」の実施

2 基幹道路ネットワークの整備（土木部）

- 北近畿豊岡自動車道の整備促進
- 山陰近畿自動車道の整備推進

III 誇りたい・ふるさと但馬の再発見 ～シビックプライドの醸成～



魅力ある地域環境の再認識

1 コウノトリも棲める郷づくりの推進

(1,078千円)

(1) コウノトリ野生復帰の環境整備

- ア コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の開催
- イ ビオトープ等環境整備への支援

(2) コウノトリ野生復帰PR事業の推進

地域団体が行う野生復帰事業のYouTube発信

2 ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業

(1,859千円)

- (1) 戸島湿地等の調査・保全活動
- (2) 活動発表会の開催

3 新潟県との連携による情報発信と交流促進（再掲）

小学生対面学習等の支援、PRパンフレット等の作成

4 清流の郷づくり大作戦の推進

(120千円)

- (1) 魚道づくり体験、放流会等の実施
- (2) 「水辺の小わざ検討会」の開催
- (3) 各河川の保全協議会（仮称）の設立・運営支援



5 豊岡復興建築群の魅力発信

(650千円)

(1) 歴史的価値の普及啓発

- ア 豊岡復興建築群の情報発信
- イ 中学校や高等学校での出前講座の実施

(2) 復興建築を活用した地域活性化

デジタルマップを活用したスタンプラリーの開催

III 誇りたい・ふるさと但馬の再発見 ～シビックプライドの醸成～



暮らしの質を高める地域づくり

1 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進 (10,845千円)

- (1) 管内市町等が実施する芸術文化振興事業への支援
- (2) 芸術文化施設・イベント情報発信事業

2 但馬での学生グループ地域づくり活動の支援 (758千円)

- (1) **大学生及びOB等のグループ活動支援**
大学生や但馬で地域活動実績のある大学卒業生の社会人等で構成するグループが行う、暮らしの中の課題解決やにぎわいづくりなどの活動に対して支援
- (2) **高校生グループ活動支援**
但馬の高校生グループが地域づくりに取組む集落等と連携した活動に対して支援

3 地域活動応援事業の推進 (7,141千円)

但馬地域ビジョン2050がめざす未来の姿の実現に向け、地域の活性化や課題解決に取り組む団体の活動を支援する。

4 但馬地域ビジョン2050の推進 (3,598千円)

- (1) **但馬地域ビジョン2050の普及啓発**
 - ア 出前講座の実施
 - イ ホームページによる情報発信・PR
 - ウ 広報推進員の設置
- (2) **たじま交流フェスタの開催**
地域の未来を考え話し合う、たじま交流フェスタの開催

5 地域見守り力アップ作戦 (400千円)

- (1) 但馬の青少年を見守る「ひと声運動」の実施
- (2) 青少年非行に対する地域の危機意識醸成のためのキャンペーン実施
- (3) 適切なインターネット利用への啓発活動

6 但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援 (1,705千円)

- (1) 環境保全等の活動への支援
- (2) 自然環境再生・啓発事業
- (3) 環境フェスティバルの開催

III 誇りたい・ふるさと但馬の再発見 ～シビックプライドの醸成～



暮らしの質を高める地域づくり

新規 7 「たじま福祉交流・連携エリア」事業検討 (402千円)

発展的統合整備を行う特別支援学校の周辺を「たじま福祉交流・連携エリア」と称し、多様な福祉連携を展開するため、その方策について検討する。

8 地域医療構想の実現と推進 (111千円)

- (1) 但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会（地域医療構想調整会議）の開催
- (2) 但馬圏域医療機関等連絡会議の開催

新規 9 社会的処方及び重層的支援体制の整備による地域共生社会の推進 (750千円)

- (1) 市町の重層的支援体制整備の実施の推進
- (2) 医療機関等への働きかけ
- (3) 地域資源開発をする社会福祉協議会、福祉事業者向けへのアプローチ
- (4) 社会的処方を実施するケースワーカーへのアプローチ

イメージアップ推進

1 地域ぐるみの新規就農者の確保(再掲)

但馬の魅力を直に感じるバスツアーを実施

2 クリーン但馬10万人大作戦の推進

(509千円)

- (1) 地域住民と一体となった不法投棄防止対策の推進
- (2) 海岸漂着ごみ対策の推進

3 安全安心で住みよい但馬の農村(むら)づくり

(50千円)

(1) 棚田保全活動会員の募集

農作業の手助けを継続的に行う個人・企業等の棚田保全活動会員（棚田ボランティア）の募集

(2) 保全活動の実施・広報

ボランティア参加型の保全活動の効果的実施や新たな会員の募集に向け、地元高校とも連携しながら、啓発用のPR動画等を作成

4 地域防災力の充実・強化

(300千円)

但馬地域での災害への知識を深めるため、防災関連講演を実施し、防災関係者や災害対応職員等への最新の情報を提供し、地域防災力の充実・強化を目指す。